



新春を迎えて

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、深いご理解と多大なご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。



お正月は、地域や家庭によって様々ですが、初詣にでかけてお願いごとをしたり、家族や親戚が集まっておせち料理やお雑煮をいただいたり、お世話になっている方々や知り合いに新年のご挨拶をしたりする習わしがあります。

また、むかしから「一富士(いちふじ)二鷹(にたか)三茄子(さんなすび)」ということわざがあり、初夢にみるとよいことが起こるともいわれてきました。

さて、和田中学校区の小中一貫の教育目標は「夢を志(こころざし)へ」です。夢を持つことで、目標が生まれ、その目標を達成するために自分の心に強い意志が生まれます。その意思が「志(こころざし)」です。志を持ち、一歩前へ踏み出していこう。そんな思いが込められています。今年は、東京オリンピック・パラリンピックの年です。夢の実現に向けて努力と苦労を積み重ねてきたアスリートたちの姿を通して、たくさんの勇気と感動を与えてもらい、子どもたちは自分の夢や希望の実現について思いを膨らませることでしょう。

また、今年は、小学校新学習指導要領が本格実施される年でもあります。「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視する授業づくりや、地域と連携した学校づくり等が実施されます。今後の社会の変化を見据え、これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしいという願いが新学習指導要領には込められています。

新年には、希望と喜びを胸に目標を立てて、決意を新たにすることが大切だといわれています。どんなに小さくて、大人からすればとるに足らないと思えることでも、子どもの話に耳を傾け、顔を向き合わせて、将来の夢や希望、生き方などについて話をさせていただく時間をとっていただければと思います。また、「だれかの役に立ちたい思い」や「人を大切に思う気持ち」が豊かな生き方につながることを子どもたちに伝えていただければと思います。

いよいよ、第3学期のスタートです。短い期間ではありますが、学年の総まとめと次年度へ飛躍するための土台づくりの大切な学期です。教育目標の達成をめざし、子どもたち一人一人のよさを大切に、それぞれの夢や希望の実現に向けて教職員一同努力していきたいと思っております。



どうぞ本年も、保護者、地域の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

校長 藤原 佳弘
教職員 一同